

学習プログラム作ろう！

(B)グループ

テーマ 青少年教育

個人の要望

- 楽しく学習できる(冒険・探検)
- 知らないことを知る
- おもしろいことを体験する

社会の要請

- 地域学習
- 現代の子どもたちの課題(コミュニケーション不足など)の解消
- 体験、ふれあいを実生活につなげる
- 地域の活性化
- 現在、小学生から中学生になると地域行事への参加が少なくなる状況があり、小学校高学年での行事参加により、中学生での行事参加を促す。

課題の発見

- 男女で興味のあるものが異なる。
- 大人数で行動すると、興味を持たない子が出てくる。
- 最近はコミュニケーションがうまくとれない子が多いため、はじめの入口が重要。
- 子どもたちが自発的に動けるようなプログラム作成が必要。
- “体験”は一人でできてしまうことがある。
- 一人ぼっちの子をつくらないようにしなければならない。
- 地域の方を講師にすると、良い面と悪い面がある。
(知識は深いが、子どもが興味を持つような話し方ができるか?)

具体的な活動

- 自己紹介タイム(アイスブレイク)
- 昼食作り(自分で手に入れて自分で作る！)
- 宝の地図作り
- 海・山探検(生き物・山菜さがし)

プログラムのねらい

地域の人とのふれあいを通して、子どもたちがふるさとを知り、ふるさとを愛する心を育てる。

プログラム全体の学習目標

- 参加者同士の交流を通して、連帯感を強める。
- 今まで体験したことのない体験を通して、ふるさとに興味をもつキッカケをつくる。
- 地元の人を交えた体験学習を通して、郷土愛を育てる。